

## 8. 水災害（洪水など）への備えについて

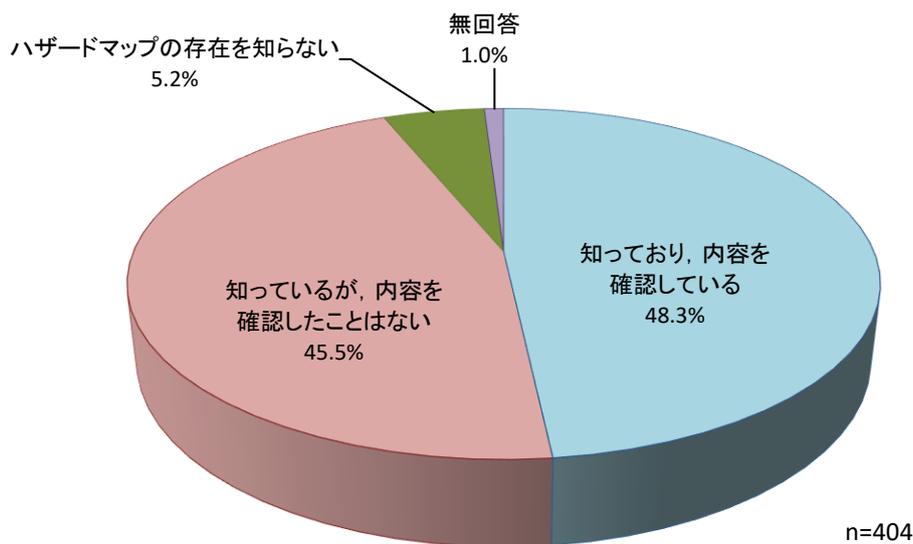
### (1) ハザードマップの存在の認知度

◇ 「知っており、内容を確認している」が5割弱

問29 近年、台風の大規模化やゲリラ豪雨など、自然災害が激甚化・頻発化し、市内でも令和元年東日本台風などにより、洪水などの被害が発生しています。市では、こうした水災害などに対し、あらかじめ備えるため、洪水などの被害が発生する地域や浸水の深さ、災害時の避難や事前準備の情報をまとめた「ハザードマップ」を作成しています。あなたは、「ハザードマップ」の存在を知っていますか。 (○は1つ)

		n=404
1	知っており、内容を確認している	48.3%
2	知っているが、内容を確認したことはない	45.5%
3	ハザードマップの存在を知らない	5.2%
	(無回答)	1.0%

<図IV-8-1>全体



「ハザードマップ」の存在を知っているかについては、「知っており、内容を確認している」が48.3%で最も高く、次いで「知っているが、内容を確認したことはない」が45.5%であった。(図IV-8-1)

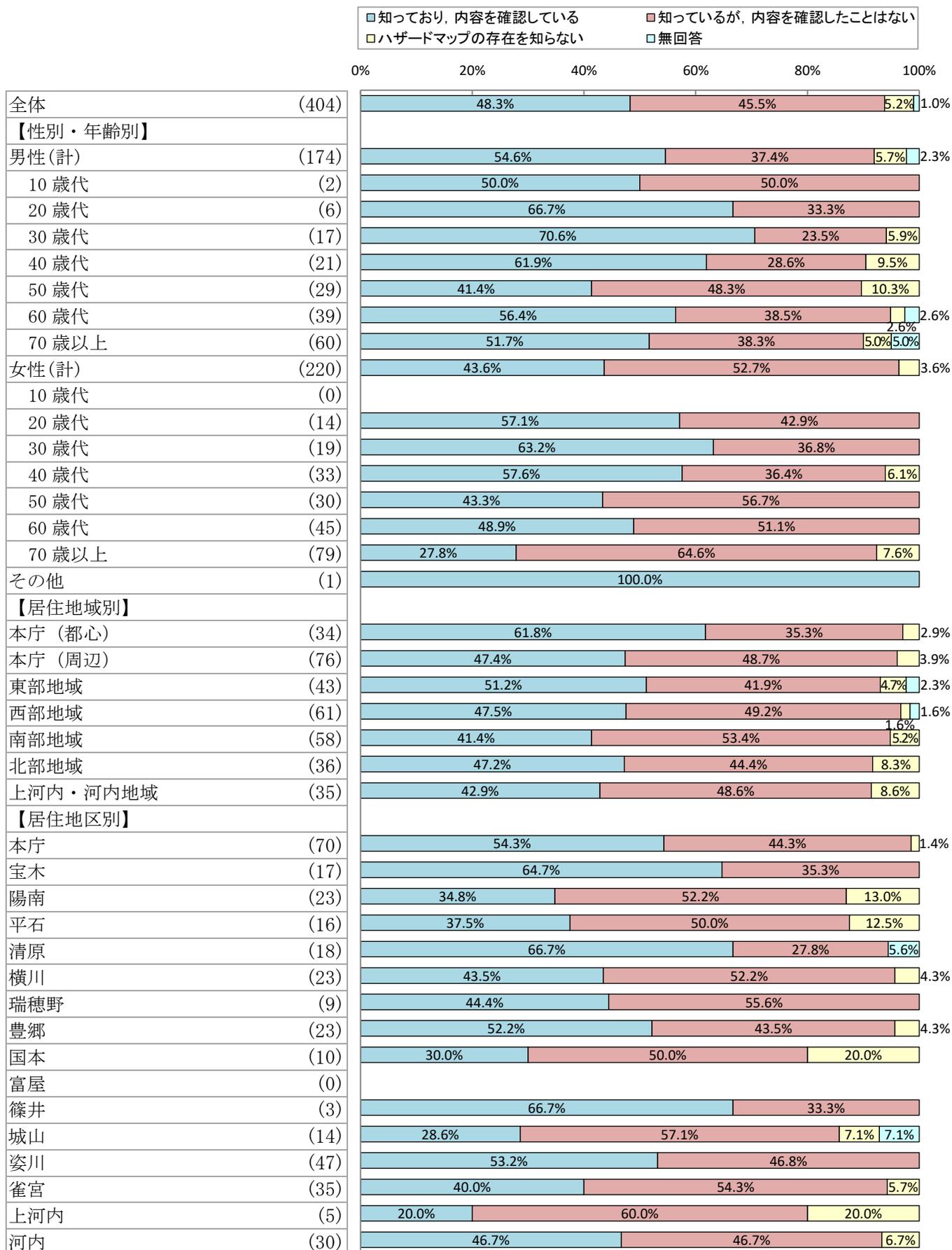
#### <参考>

性別・年齢別でみると、「知っており、内容を確認している」は<その他>を除くと、<男性/30歳代>が70.6%、<男性/20歳代>が66.7%であった。「知っているが、内容を確認したことはない」は<女性/70歳以上>が64.6%、<女性/50歳代>が56.7%であった。(図IV-8-2)

居住地域別でみると、「知っており、内容を確認している」は<本庁(都心)>が61.8%で最も高く、次いで<東部地域>が51.2%であった。「知っているが、内容を確認したことはない」は<南部地域>が53.4%で最も高く、次いで<西部地域>が49.2%であった。(図IV-8-2)

居住地区別で見ると、「知っており、内容を確認している」は<清原><篠井>が66.7%で最も高く、次いで<宝木>が64.7%であった。「知っているが、内容を確認したことはない」は<上河内>が60.0%で最も高く、次いで<城山>が57.1%であった。(図IV-8-2)

<図IV-8-2>性別・年齢別／居住地域別／居住地区別

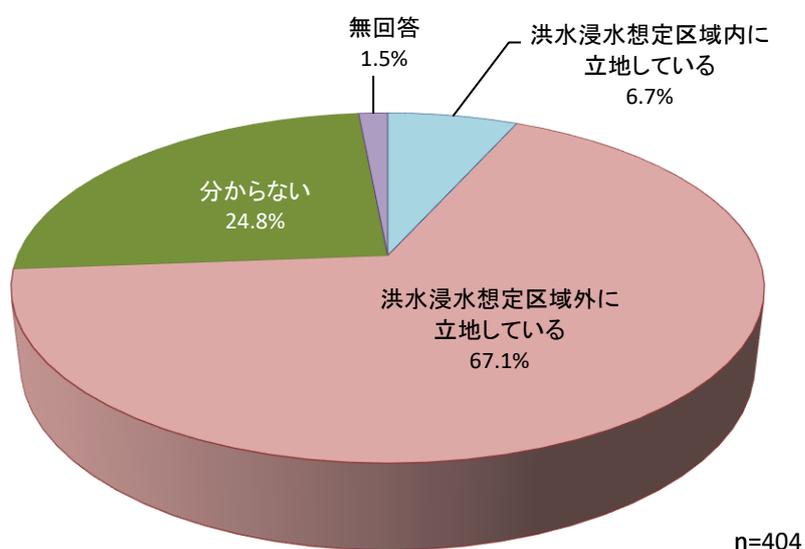


(2) 住んでいる建物（住宅）は、洪水浸水想定区域内、または洪水浸水想定区域外か

◇ 「洪水浸水想定区域外に立地している」が7割弱

問30	あなたの住んでいる建物（住宅）は、「ハザードマップ」で示す洪水浸水想定区域内、または洪水浸水想定区域外のどちらに立地していますか。	(○は1つ)
		n=404
1	洪水浸水想定区域内に立地している	6.7%
2	洪水浸水想定区域外に立地している	67.1%
3	分からない	24.8%
	(無回答)	1.5%

<図IV-8-3>全体



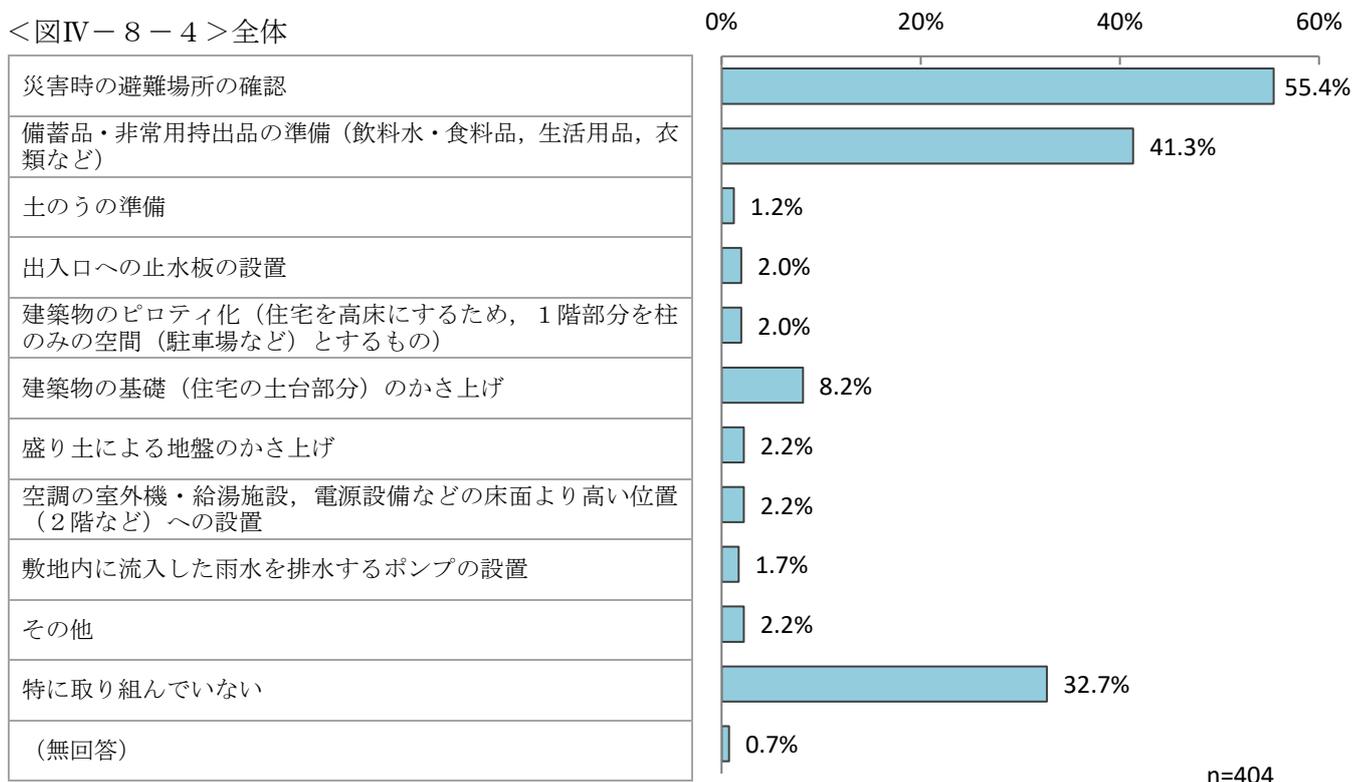
住んでいる建物（住宅）は、「ハザードマップ」で示す洪水浸水想定区域内、または洪水浸水想定区域外のどちらに立地しているかについては、「洪水浸水想定区域外に立地している」が67.1%で最も高く、次いで「分からない」が24.8%、「洪水浸水想定区域内に立地している」が6.7%であった。(図IV-8-3)

### (3) 水災害への備えに取り組んでいるか

#### ◇ 「災害時の避難場所の確認」が5割半ば

問 3 1	あなたは、水災害（洪水など）に対し、あらかじめ備えるため、以下の水災害への備えに取り組んでいますか。該当するものを全て選んでください。（〇はいくつでも）	n=404
1	災害時の避難場所の確認	55.4%
2	備蓄品・非常用持出品の準備（飲料水・食料品、生活用品、衣類など）	41.3%
3	土のうの準備	1.2%
4	出入口への止水板の設置	2.0%
5	建築物のピロティ化（住宅を高床にするため、1階部分を柱のみの空間（駐車場など）とするもの）	2.0%
6	建築物の基礎（住宅の土台部分）のかさ上げ	8.2%
7	盛り土による地盤のかさ上げ	2.2%
8	空調の室外機・給湯施設、電源設備などの床面より高い位置（2階など）への設置	2.2%
9	敷地内に流入した雨水を排水するポンプの設置	1.7%
10	その他	2.2%
11	特に取り組んでいない (無回答)	32.7% 0.7%

<図IV-8-4>全体



水災害（洪水など）に対し、あらかじめ備えるため、水災害への備えに取り組んでいるものについては、「災害時の避難場所の確認」が55.4%で最も高く、次いで「備蓄品・非常用持出品の準備（飲料水・食料品、生活用品、衣類など）」が41.3%、「特に取り組んでいない」が32.7%と続いている。（図IV-8-4）

#### <参考>

性別・年齢別でみると、「災害時の避難場所の確認」は<男性/20歳代>が66.7%で最も高く、次いで<女性/70歳以上>が64.6%であった。（図IV-8-5）

居住地域別でみると、「災害時の避難場所の確認」は<本庁（周辺）>が63.2%で最も高く、次いで<本庁（都心）>が61.8%であった。（図IV-8-5）

居住地区別でみると、「災害時の避難場所の確認」は<宝木>が76.5%で最も高く、次いで<陽南>が69.6%であった。（図IV-8-5）

<図IV-8-5>性別・年齢別／居住地域・地区別

